

組織目標管理シート

年度	令和5年度	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の維持管理運営コスト ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・自家用車に頼らなくても移動しやすいまちと思う市民の割合 ・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・文化芸術活動(鑑賞含む)を行う市民の割合 	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区					評価日	R6.3.29

○: 達成
△: 一部未達成
×: 未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	公共施設の集約や統廃合などを行う際に生じる跡地は原則売却し、財源の確保に努めます。また、売却困難地や公共施設の未利用スペースは、民間事業者への貸し付けを検討するなど財産の有効活用による歳入確保に努めます。	行財2-2-①	公共施設の集約等により生じた未利用財産の売却にかかる入札実施回数	1	1	財産利活用事業(市有財産の有効活用の促進)	公共施設の集約化等により生じた未利用財産は、原則売却により早期の民間活用の実現をめざします。また、未利用財産のうち、売却に適さない物件は、民間への貸付を促進し、財産の有効活用と歳入の増加を図ります。	○	課題であった3つの廃校のうち、東小学校は、プロポーザルを実施し、活用に向け借り受ける候補者を決定することができました。また、西小学校についても、令和6年度以降の活用に向け方針を決定し、来年度に整備に向けた予算を獲得できました。	現在検討中の西小学校の具体的な活用に向け取組を進めるとともに、南小学校の活用方法の検討を進めます。
2	超高齢社会へ対応し、誰もが安心して暮らし続けることができる西蒲区を築いていくため、将来にわたり持続可能な交通環境を構築します。		収支率(%)	30.0	28.2	西蒲区生活交通改善プランに基づく施策の実施	西蒲区生活交通改善プランに基づき運行内容見直しの検討、関係者協議や広報等を行うことで、利用者数の減少に歯止めをかけます。	×	区だよりでの広報やまるごとガイドの全戸配布などを行いました。目標値には届きませんでした。	利用実態やニーズを的確に把握し、利用者数の減少に歯止めをかけます。
3	「地域力・市民力」を生かし、地域コミュニティ協議会や自治協議会とのさらなる協働を推進します。		意見交換を行うコミュニティ協議会数(件)	9	9	区内コミ協を対象とした意見交換会の実施	西蒲区のすべてのコミュニティ協議会単位でまちづくり懇談会を行います。	○	区内の9コミ協でまちづくり懇談会を行いました。	次年度もコミ協ごとの開催を目指します。
4	地域防災の次世代リーダーとなる中学生の防災学習を支援し、自助・共助による地域防災力の向上を図り、安全で災害に強いまちづくりを進めます。		実施中学校数(校)	6	6	中学生防災共育支援事業	区内の6中学校を対象とした地域防災共育の実施により、地域・防災士・行政・専門家等で支える学校防災共育体制の整備と、継続的かつ効果的な地域の防災活動への支援を行います。	○	防災共育完了校で実施した生徒の防災に対する関心度の変化についてアンケートでは、「非常に高まった」「少し高まった」と回答した生徒が9割を超える結果となりました。 ・R5.6.14 巻西中学校 ・R5.6.30 中之口中学校、湯東中学校 ・R5.10.6 岩室中学校 ・R5.11.2 巻東中学校 ・R5.11.14 西川中学校	引き続き学習内容を工夫しながら継続実施します。
5	区内の文化施設及びスポーツ施設の適正な管理・保全に努めるとともに、さらなる利用促進を図ります。		文化施設・スポーツ施設の合計利用者数(千人)	310	366	文化施設・スポーツ施設の利用促進	所管する文化施設7施設及びスポーツ施設26施設の利用促進を図ります。	○	コロナの影響も弱まり、文化施設や体育施設を利用される方が増えました。イベントの開催や施設整備を行い、利用の促進を図ることができました。	次年度も興味を持つ企画展の開催や施設整備を実施します。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	窓口サービスにおける市民満足度を向上させます。		窓口アンケートの平均点(点)	4.6	4.6	・接遇研修の実施 ・窓口アンケートの実施(年1回)	窓口サービスの質の向上に向けた研修の実施、点検・評価を目的とした窓口アンケートの実施	○	職員の接遇態度や、手続方法等の説明で高評価をいただき、目標を達成しました。	アンケート結果や日々いただくご意見を窓口対応に活かし、市民満足度を向上させる取り組みを考えていきます。
2	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	職員1人当たりの研修受講件数(件)	4	6.9	コンプライアンスの徹底、事務ミス等の発生防止に向けた職員研修の実施	職員研修等により、コンプライアンス意識の浸透・徹底を図るとともに、内部統制制度に基づき事務ミス等の事例の共有	○	職員全員へ複数回研修を実施し、コンプライアンス意識の浸透、徹底を図りました。当課において事務懈怠が発生したことを踏まえ、事務ミス等の事例を共有しました。また、事務能力向上のため積極的に研修を受講し、課内での伝達や情報共有に務めました。	引き続き、研修の受講や勉強会等の実施を奨励していきます。
3	効率的な業務執行のため、業務改善を推進します。		業務改善実施件数(件)	12	36	職員からの業務改善提案と実践	効率的な業務執行を目指した日常業務の改善	○	市民サービスの向上や業務の正確性と効率化につながる改善に努めた結果、目標値を大幅に上回って達成しました。	引き続き、効率的な業務執行を目指して業務改善に努めます。
4	ごみのないきれいな生活環境の保持に努めます。		パトロールの回数(回)	12	12	不法投棄パトロールの実施	不法投棄重点監視地点を中心に定期的なパトロールの実施	○	目標回数を達成しました。不法投棄を発見した際はすみやかに処理を行い、区内の環境整備に努めました。	引き続き、定期的なパトロールを実施します。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	岩室出張所	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	区民に寄り添った行政サービスを提供するため、親切・丁寧な窓口・電話対応を徹底します。	行財1-1-①	研修参加、実施(回)	5回/人受講	14	研修を通じた職員の窓口対応力の向上	各種研修への参加及び窓口対応事例を用いた内部研修の実施	○	参加型やオンライン研修受講のほか、窓口対応のレアケース事例を用いた内部研修を実施し、受講機会が増えました。	職場内での内部研修をさらに充実させ、所員全体の窓口対応力向上に努めていきます。
2			簡易マニュアルの整備、更新(件)	10	18	業務システムや各種申請書受付の簡易マニュアルの整備	R4作成のマニュアル一覧表をもとに、優先度の高い業務から、順次、整備・更新を実施	○	既存のマニュアルを整理しつつ、窓口対応に特化した簡易マニュアルを作成、更新することで、現場に即したより使いやすいマニュアル整備を行いました。	年度更新のほか、簡易マニュアルのリニューアルを継続し、誰もがわかりやすいマニュアルの整備を目指します。
3	コミュニティ協議会や自治会など、地域活動に取り組む団体の活動を活性化させるとともに、団体同士や行政との連携を深め、協働によるまちづくりを推進します。		コミ協事業・イベント等への派遣人員(延べ)	30	35	コミ協事業や地域イベント等の連携・支援	コミ協事業の運営支援や地域イベント等の連携協力	○	各種イベントを地域と協働して工夫を凝らしながら開催することができました。(矢川灯籠流し、岩室駅前イルミネーション等)	地域に根差した特色のある事業を継続して支援し、地域の活性化を推進していきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数(全体・うち区役所が進めた取組数) ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っているという市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	西川出張所	評価日	R6.3.29

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民の声を聴き取り、窓口業務等の改善に反映させ、市民サービス向上の取組を推進していきます。		業務改善件数	5件以上	6件	窓口アンケート等を踏まえた業務改善の実施	窓口アンケートを実施し、寄せられた市民の声や職員の気づきを参考にして、窓口業務や内部事務等の改善に取り組みます。	○	窓口アンケートや職員の気づきを踏まえ、掲示板の再利用や周辺駐車場の利用調整簿の作成など、市民視点とともに事務の効率化に資する業務改善ができました。	今後も来庁者の声を聴きながら、利用者の利便性の向上や、事務の効率性・正確性の向上に資する業務改善に取り組んでいきます。
2	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	職場内研修回数	5回以上	8回	職場内研修の推進	窓口業務の対応力向上やコンプライアンス、内部統制などをテーマとした職場内研修を開催し、職員の意識や能力の向上に取り組みます。	○	窓口業務に関する研修のほか、コンプライアンス、ハラスメント防止、情報セキュリティに関する研修など、職員の資質向上に向けた各種研修を実施しました。	変化する窓口業務に対応するための業務研修や、自治体職員としての意識や能力の向上を図るため、各種の研修に取り組んでいきます。
3	自治会・町内会、地域コミュニティ協議会などの地域団体や、様々な分野で公益活動を展開するNPOなど各種市民団体と連携した取組を推進します。	行財3-2-②	地域団体の会議・行事への参加・支援人数	30人以上	60人	地域コミュニティ活動の支援	地域課題等の情報を共有しながら、自主・自立性を尊重した地域コミュニティ活動の支援に取り組みます。	○	地域活動支援として、まつりやイベントへの運営協力のほか、地域団体の会議や行事に積極的に参加し、地域課題の把握に努めました。	今後の地域コミュニティのあり方を地域の方々と一緒に考えながら、身近な行政窓口としての役割を果たしてまいります。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域活動に参加した経験のある市民の割合 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・仕事に対する職員満足度	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	潟東出張所	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域コミュニティ協議会や自治会の事業に参画し、協働による地域の活性化を推進します。	政策1-1-①	各種事業への参画支援人数(人)	10	27	コミュニティ協議会・自治会事業の支援 ・潟東おまつり広場(どろんこカップ) ・かもんカモねぎまつり ・その他	各地域イベント等への実行委員会、開催当日、反省会等へ参画し支援いたします。	○	コロナ禍あけで本格的な開催となった地域イベントに対し、実行委員会・開催当日の支援・反省会への出席など、積極的に参加し支援を行いました。	地域に根差した特色のある事業を継続して支援し、地域の活性化を推進していきます。
2	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど、職務遂行能力の向上を図ります。	行財1-1-①	職員各自の担当業務についての職場内研修実施回数(回)	7	8	各業務の職場内研修の開催	住民票、戸籍、保険年金、税、その他に関する業務の理解を深め、情報を共有することによる、手続きの迅速化、誤りの軽減を図ります。	○	職員のスキルアップと業務に関する情報の共有化を目的に、業務主任職員が講師となり、税システムの効率的な検索方法の共有、相続登記研修やテストなど職員相互の職場内研修を計画的に実施しました。	変化する窓口業務に対応するための業務研修や、自治体職員としての意識や能力の向上を図るため、各種の研修に取り組んでいきます。
3	正職員、再任用職員、会計年度任用職員など多様な働き方の組織内で、職員各々がその能力を最大限に発揮できるよう、業務マニュアルの整備、事務改善、職場環境の整備について、組織全体で取り組みます。	行財1-4-②	業務簡易マニュアルの整備・更新及び改善提案件数(件)	6	15	・窓口業務、各業務システムに対応する簡易マニュアルの整備更新の実施 ・事務改善提案の実施 ・職場環境改善提案の実施	業務マニュアルの整備、事務改善、職場環境改善により、多様な働き方の職場でも、働きやすい職場環境整備を図ります。	○	業務改善意欲と改善視点の向上及び業務の効率化の観点から、積極的に提案を受け、各種システム操作マニュアルや庁舎遮熱化対策など、改善・実践しました。	今後も事務の効率性・正確性の向上に資する業務改善に取り組んでいきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	中之口出張所	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民の信頼と期待に応えられるよう職員の資質向上に努め、行政サービス提供における市民満足度の向上を目指します。	行財1-1-①	窓口アンケートの平均点数 「とても良い」～「とても悪い」までの5段階評価	過去3年間の平均点4.7点以上	4.6点	窓口応接研修	来庁者へ窓口アンケートを実施して、過去3年間の平均点を上げる評価を目指します。	△	前期は4.73、後期は4.51で年平均4.62と目標を若干下回ったが、以前高い満足度評価を頂いています。	高止まりの評価数値となっていますが、研修などを行い懇切丁寧な対応に努めていきます。
		行財1-4-①	地域を理解し寄り添える職員研修の実施	地域研修を2回	座学研修1回 現地研修1回	職場内研修の実施	中之口まち歩きガイドの資料等を活用して、業務研修以外の地域を理解し分かり合える職員育成を図ります。	○	澤将監の館について、建設の経緯や各種事業を座学で研修しました。また現地研修を行い一層の理解を深め地域理解を深めました。	地域に関係のあるものを研修対象(内容)とした職員研修を行い、地域を理解し寄り添った職員育成に努めます。
2	地域コミュニティ協議会及び地域活性化につながる市民活動を支援します。		地域活動支援を実施	延べ11人を派遣	延べ14名を派遣	人的支援	地域活性化につながる事業に職員を派遣し、市民活動を支援します。	○	コミ協などが主体となって実施する祭りなどの事業に職員を必要人数派遣しました。	地域課題を解決する内容には、必要に応じて企画段階から職員が参画するなどして地域振興に努めます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度		(参考) 関連する総合計画における政策指標	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちと思う保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・民間活力導入効果額	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課		評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	関係機関と連携し、安心・安全に暮らせるまちづくりの実現に向けた取り組みを行います。		にしかんハートメールの発信回数(回)	15	15	ハートメールによる情報発信	民生委員・児童委員や自治会長、福祉関係者等に健康と福祉に関する情報や防犯防災等に関する情報を発信する ※月1回以上(その他緊急情報) <R5.4.1時点の登録:202人>	○	ワクチン接種や熱中症予防など健康に関する情報のほか、特殊詐欺への注意喚起など、地域住民に密接な関わりのある情報について発信について、目標どおり15回発信を行いました。	地域にかかわる情報の迅速な発信は重要なことであるため、引き続き民生委員・児童委員や自治会長、福祉関係者等へタイムリーに情報発信していきます。
2	子育てをしている親の孤立や育児不安を解消するため、各種相談や情報提供などの支援を実施します。		講座参加者が前年度以上 ・NPプログラム(単位:人) ・BP1、BP2プログラム(単位:組)	49(人・組)	60(人・組)	各種子育て支援講座の開催	子育て支援に関する各種講座の実施する ・NPプログラム(1講座) ・BP1(4講座) ・BP2(2講座) ※定員:各10人 ・ミュージックセラピー ・いのちの誕生・思春期教室	○	【開催回数と参加者数】 ・NP:10名(定員10) ・BP1:37組(定員10×4講座) ・BP2:13組(定員10×2講座) 計60人・組(定員70) (ミュージックセラピー:26人(1回平均))延250人 (いのちの誕生3校・思春期教室14校※希望校すべて実施)	講座への参加を通して子育て支援センター、保育コンシェルジュに相談しやすい体制整備が図られることから、事業を継続実施していきます。
3	支え合いの仕組みづくり推進員や地域包括支援センターなどと連携して住民主体のサービス等を創出し、地域包括ケアの持続的な進展を図ります。		地域の茶の間(月1回開催含む)と住民主体のサービスの新規創出数(件)	3	6	地域の茶の間及び住民主体のサービス創出	日常生活圏域の各圏域において、支え合いの仕組みづくり推進員と連携しながら地域の茶の間の及び住民主体の訪問型支援サービスを創出する	○	【茶の間(サロン)】 4月 岩室地区 1件 6月 中之口・潟東地区 1件 10月 中之口・潟東地区 1件 10月 巻地区 1件 (計4件) (全て週1回未満開催) 【住民主体サービス】 4月 巻地区 1件 1月 岩室地区 1件 (計2件)	支え合いのしくみづくり推進員と連携しながら、引き続き新規創設を図っていきます。
4	健康寿命延伸のための健康づくり事業に取り組み、区民自らが健康を意識し、生活習慣の改善に向けた行動ができるよう支援します。		生活習慣病予防に関する地域での健康教室等の延べ参加者数、ウォーキング記録提出者数(人)	4,260	3,967	生活習慣病予防と健康増進活動	子どもからお年寄りまで各年代向けに、健康寿命延伸や歯科保健に関する講座を実施し、生活習慣の改善に向けた事業を実施する	△	健康教室等93回2,216人、食推活動12回177人、運推活動62回830人、小中学校歯科健康教育13回464人、ウォーキング手帳提出者157人、やさいのレンビ投稿数39件等。 総数は目標に届きませんでしたが、高校文化祭や小中学校での歯科健康教育で若い世代の参加者が増えました。また、高齢者の運動習慣定着に向けて、健康相談で「にしかんみんなの体操」を実施するなど体験型の事業を行いました。	継続的な健康づくりの周知啓発が必要であることから、各年代向けに参加体験型の事業を実施していきます。
5	持続可能な行政運営を推進するため、経営資源のより効果的・効率的な配分や行政と民間の役割分担の整理など、民間の力を取り入れた市政の推進に取り組みます。	行財1-2-①②	生きがい通所事業の廃止とデイサービスセンターの民営化・廃止(施設数)	5	5	事業廃止と民営化	生きがい通所事業の廃止及びデイサービスセンターの民営化について、地域と協議しながら円滑に進める	○	デイサービスについて、巻は民営化、中之口、潟東は廃止することとした。中之口は隣接の民間法人で利用者を受け入れることし、潟東は近隣施設での受け入れに向けて地元コミ協ほか利用者、ケアマネージャー等に説明会を開催し、受入調整を進めています。 生きがい通所事業については、3月末での廃止に向けて、12月議会において条例改正を行いました。	廃止に伴い未利用となる施設について、今後貸付けほか利活用に向けて検討していきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	この地域で子育てをしたいと思う親の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均) ・自分が健康だと思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	巻地域保健福祉センター	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域の健康課題や健康管理を含む意識の醸成を図り、改善に向けて地域で支え合うしくみづくりを推進します。		コミ協の事業において、健康づくりの啓発を行い周知したコミ協数(件)	9	9	・依頼健康教育(コミ協健康づくり教室)	・地域の健康課題を踏まえ、9つのコミ協の事業において、健康寿命延伸のための健康づくりを啓発し、周知する。	○	・自主運営の3コミ協は依頼健康教育の中で周知、他6コミ協は運営状況に合わせて健康教育、健康相談、コミ協だより等で健康づくりを啓発周知しました。	すべてのコミ協に対し健康寿命延伸に取り組むため、健康づくりの啓発・周知を継続して実施します。
2	妊娠期からの切れ目ない支援を行うことにより、母子が地域で健やかに子育てができるようにします。		特定妊婦に対して訪問や電話等で相談支援を行った割合(%)	100	100	・区内産院との情報交換会 ・妊婦検討会 ・家庭訪問 ・育児相談	・区内産院、関係機関と特定妊婦等の支援方針・方策を検討し、支援プランを作成する。 ・特定妊婦に対して、妊娠中から訪問や電話などで相談支援を行う。	○	・区内の産婦人科クリニックとのケース検討会を隔月、妊婦検討会を毎月実施。特定妊婦41名に妊娠中から支援を実施しました。	特定妊婦への電話や訪問等での支援及び、区内産婦人科クリニック、所属内での妊婦検討会で情報共有や協議を継続して実施します。
3	健康寿命延伸をすすめるため、成人・高齢者に対して、フレイル予防として健康づくり活動を普及啓発します。		高齢者健康相談等を実施した団体に対して、フレイル予防の内容を周知した回数(回)	30	65	・高齢者健康相談 ・依頼健康教育 ・依頼健康相談	・高齢者健康相談会等において、フレイル予防に関する健康づくりの活動(運動・栄養・口腔)を普及啓発する。 ・区民が自身の健康状態を確認できるよう特定健診のPRを行う。	○	・各種団体にフレイル予防の周知の実施…高齢者健康相談会:延46回、553人。依頼健康教育・コミ協健康づくり教室:延8回、148人。その他に延11回、172人に健診受診勧奨も実施しました。	健康寿命延伸に向けて、高齢者健康相談会等の場面を活用し、フレイル予防に関する周知を継続して実施します。
4	職員がその能力を発揮できるよう、職員研修や人事制度、職場風土などのあらゆる観点から組織全体で取り組みます。	行財1-4-①	能力育成を目的に職場内で復命研修を実施した回数(回)	10	11	・各種専門研修(母子、成人、難病、障がい、介護保険) ・ケース検討会	・窓口業務の対応力向上やケース対応について、職場内で共有を図り、市民に対しよりよい支援につなげられるよう取り組みます。	○	・復命研修は延5回、53人が参加しました。ケース検討会では延6回、39人が参加し、よりよい支援に向けた取組みを実施しました。	窓口や訪問での対応力向上のため、職場内研修やケース検討会は継続して実施します。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・農業産出額推計値 ・観光入込客数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	産業観光課	評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	R5後期 目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5後期結果	取組名称(事業名)			
1	様々な分野で民間事業者などと 公民連携することにより、「売れる ものづくり」の実践に向け、「西蒲 ブランド」農産物の産地化を推進し ます。	行財3-2-③	事業者や学校等 と連携して実施する 事業件数(件) *認知度向上を図る 事業であり、単なる 販売は含まない	5	13	「にしかん なないろ 野菜」ブランド強化・ 販路拡大事業	「にしかん なないろ野菜」の ブランド力向上に向け、飲食店 のみならず、様々な事業者や 学校などと連携し認知度向上 を図る事業を実施し、販路拡大 につなげます。	事業者や学校等と13件の 連携事業を実施しました。 全国の注目が集まるイベ ントや全国ネットのTV番組 で取り上げられるなど、地 域ブランドとしての認知度 は着実に向上しています。 また、加工業者から大口の 注文が入るなど、具体的な 販路の拡大につながりました。	JAや生産者と方向性の確認 をするともに、次年度に予 定している大手の加工業者 向け野菜の栽培や販促活動 の準備を進めます。また、引 き続き認知度向上に取り組 みつつ、今後増加が見込ま れる新規要望に対応できるよ うな体制整備に取り組みま す。
2	農地の持つ自然環境の保全、良 好な景観の保持等の多面的機能 を維持向上させるため、農地の維 持活動を通じて、地域資源の適切 な保全管理を推進します。		活動組織の広域 化件数(件)	2	2	多面的機能支払交 付金事業	活動組織の広域化、適切な 保全管理を行う地域を支援し ます。	活動組織の広域化の推進 に取り組んだ結果、令和6 年度から新規加入する2組 組織が広域組織へ編入する ことになり、目標を達成し ました。	多面的機能支払交付金を活 用し、農業者、関係団体およ び地域住民などの相互理解 のもと、集落の現状を踏まえ た持続可能な共同活動にと り組むことで、農村地域の維 持・活性化を図ります。
3	人手不足の人材確保に向け、区 の特色や魅力を活用し、関係人口 の創出につなげます。		受入事業者数 (件)	6	6	にしかんワーキング ツーリズム事業	人手不足で困っている農業 者や観光業者などと、農業や 地域に関心がある方々が出会 えるマッチングサイトで就労者 を募り、将来の移住・定住につ なげます。	6者の受入情報掲載を行 い、うち4者について受入 完了しました。また、次年 度に向けた受入事業者の 掘り出しも積極的に行いま した。	受入や就労に係る課題を解 消し、受入事業者が増加する よう努めます。また、就労者 へ移住・定住、観光等に関す る情報発信を積極的にを行う ことで、本事業を契機とした 関係人口の創出につなげま す。
4	にしかん地域の民間事業者など との公民連携により、観光スポ ットを結ぶ三次交通を運行しま す。これにより、県内外からの誘 客を促進し、地域経済の活性化 を図ります。	行財3-2-③	にしかん観光周 遊バス収支率(%)	30.0	31.0	にしかん観光周遊 バスの運行事業	にしかん観光周遊ぐる～ん バスを運行し、利用促進及び 利便性の向上で誘客を促進す ることで、地域経済の活性化を 図ります。	4月29日から土日祝日運 行をしました。複数の雑誌 掲載、ヤフージャパン、イ オン包括連携の活用、ラジ オ・テレビ出演、アルビ新 潟市デー出展によるPR等 積極的に広報活動を展開し 認知度及び利用者数向上を 図りました。	バス車両広告取扱基準を定 め、フリーバス協賛店や区内 観光協会会員を中心に広告 を募集します。広告収入を得 ることにより、収支率向上を 図ります。
			観光周遊バス利 用者数(人)	3,500	3,434			例年になく猛暑及び10月 の天候の悪さが影響し、外 出を控える傾向が見受けら れ、わずかに目標には及 びませんでした。	市広報課と連携し、各種広報 媒体を活用します。特に、テ レビ・ラジオ等を積極的に利 用した広報活動を展開し、認 知度及び利用者数向上を図 ります。また、乗車特典への 協力など地元サービス業者と の連携強化に引き続き取り 組めます。
5	魅力的な観光コンテンツを洗い 出し、磨き上げることで地域の魅 力を高め、新たな魅力を発信す ることで、交流人口の拡大を図り ます。		観光入込客数 (人)	1,919,000	1,851,042	にしかん新ツーリ ズム誘客事業	少人数をターゲットに岩室温 泉を中心としたプロモーション ツールの活用により、各種広 報活動やエージェントセールス を実施し、交流人口の拡大を 図ります。	岩室温泉各旅館の意見や 世情に合わせて、ターゲット をインバウンドに変更し、 招聘を行いました。商品造 成につなげ情報発信する ことで来年度の入込客数 に反映できる仕組みづくり を行いました。今年度の入 込客数を増やす取り組み としては、OTAサイトを活 用した西蒲区観光プロモ ーションを実施しましたが、コ ロナ禍からの回復途上、地 震の影響等により目標に 及びませんでした。	関係団体から丁寧な意見 聞き取りながらも、求められ る観光のスタイルにアンテナ を張り、来年度も国内外から の誘客に力を入れていきま す。そのためには、今年度同 様に反映できる仕組みづく りを行い、隣接している関係 団体とも協力しながら面 で認知度を上げていきま す。

組織目標管理シート

年度	令和5年度		(参考) 関連する総合計画における政策指標	・仕事に対する職員満足度 ・道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	西蒲区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課		評価日	R6.3.29

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組めます。	行政1-4-①	各種研修への派遣職員数(人)	130	167	職員の能力開発、キャリア育成	人材育成基本方針に基づき、職員に必要とされる基本的な資質・能力や階層別研修のほか、専門能力の向上及び、自己開発に向けた支援を行います。	職員が技術研修会等へ参加できるようにスケジュールを調整し、知見の取得や能力向上を図り、目標を達成することができました。また、これによる情報共有のための報告会等も併せて実施しました。	今後は、研修テーマに工夫を凝らすなど、さらなる職員の能力・資質向上に取り組んでいきます。
2	通学路における児童や未就学児を交通事故の被害から守るため、安心・安全な歩行空間の確保を推進します。	政策15-1-④	通学路交通安全プログラムの対策達成率	90%	91.4%	交通安全施設整備事業	地域ごとに通学路の交通安全の確保に向けた取組の基本的方針をまとめた「通学路交通安全プログラム」に基づき、小学校の通学路及び未就学児が日常的に集団で移動する経路において、防護柵の設置や路側帯のカラー化など交通安全対策を実施します。	「通学路交通安全プログラム」に基づき、グリーンベルト設置など交通安全対策7箇所を実施しました。 ※通学路合同点検による対策必要箇所222箇所、対策済箇所203箇所	「通学路交通安全プログラム」に基づき、学校・警察・保護者・地元等の関係機関と連携して、通学路の交通安全確保に取り組んでいきます。
3	前期の工事等の発注率を高めます。		4～9月末迄の工事等発注率(%) (※発注件数÷当初予定件数)	93%	94.7%	道路、水路、公園等整備工事及び維持工事の発注	地域要望の早期完遂を図るため、事業の平準化に取り組みながら前期の工事等発注率を高めます。	事業の平準化と地域要望の早期完遂を実現するため、計画的に工事等を発注し、事業の進捗管理に努めたことで目標を達成することができました。 ※当初計画件数57件、早期発注件数54件	工事等の早期発注は、事業の平準化や働き方改革にもつながるもの。今後も地元住民との意思疎通を深め、早期に事業を実施することで、さらなる市民サービスの向上に努めます。
4	地形等の要因で道路冠水が想定される箇所のうち、特に通行障害が見込まれる箇所の事前点検等を行い、道路交通の安全確保に努めます。		点検パトロールの実施数(回)	24	24	・高速道路下の横断ボックス内排水ポンプ等施設の点検パトロール ・道路冠水想定区域内の施設を適宜に点検パトロール	市民の安心安全を確保するため、定期的に道路や水路及び公園等の維持・点検パトロールを実施します。	定期的なパトロールや気象情報に基づく臨時パトロールを実施し、排水ポンプや電気施設等の不具合、障害の有無などの確認に努めたことで、目標を達成することができました。	道路や水路及び公園等の維持・点検パトロールを継続実施するとともに、老朽化した排水ポンプを計画的に更新できるように、予算確保に努めます。
5	市民の憩いの場である公園について、照明の不点灯などの施設の損傷発見と対応に努めます。		公園照明台帳の作成率(%)	100% ※R4年度までに65.1%達成済	100%	公園照明台帳の作成	照明設置43公園の公園照明台帳を整備し、適正に管理することで、市民から安心して公園を利用していただける環境づくりに努めます。	定期的な夜間パトロールで照明施設の不具合や老朽化の状況を把握するとともに、3か年計画の進捗管理に努めたことで、全ての公園照明台帳を電子化することができました。 ※照明設置43公園、照明台帳作成済43公園	公園照明台帳を参考に、来年度から、緊急輸送路に設置されている道路照明のLED化と照明台帳の電子化に取り組めます。